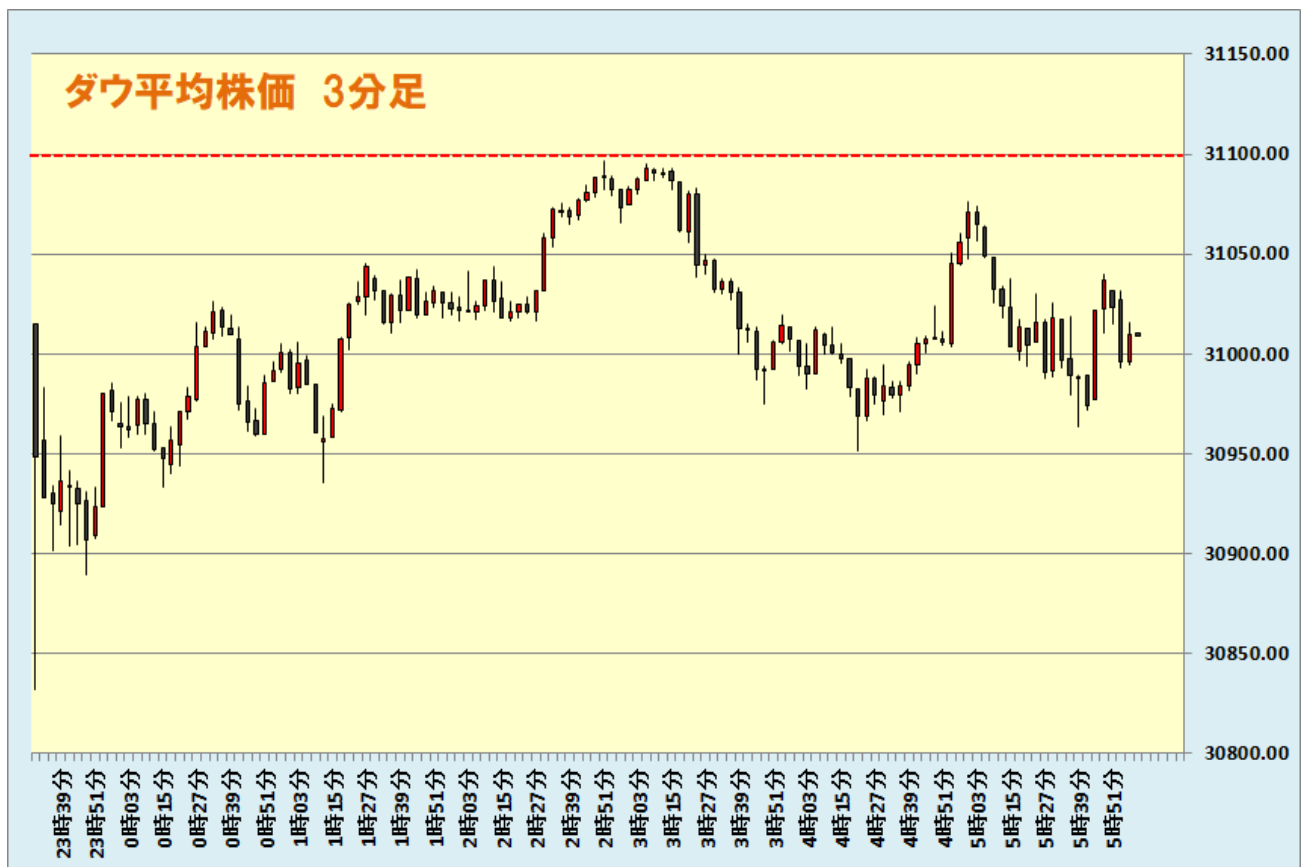


NY 市場レポート (前日 22 時 00 分～午前 6 時 30 分まで)

主要株価指数は反落

米株式市場では、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に対する懸念が高まっていることや、トランプ米大統領の弾劾訴追を巡る政治的な混乱を背景に、ダウ平均株価が序盤に前週末比 265 ドル安まで下落するなど、主要株価指数は軟調な動きとなった。また、前週末に過去最高値を更新したことを受けた利益確定売りにも押された。その後、ダウ平均株価は序盤の下げ幅を縮小し、89.28 ドル安 (-0.29%) で終了、一方、ハイテク株中心のナスダックは 165.54 ドル安 (1.25%) で終了した。



データを基に SBILM が作成

| セクター別変動率(ダウ平均) | | | 個別の変動率(ダウ平均銘柄) | | |
|----------------|--------|--------|----------------|-----------|--------|
| | セクター | 変動率 | | 銘柄 | 変動率 |
| 1 | テクノロジー | -1.10% | 1 | アップル | -2.32% |
| 2 | 資本財 | -0.85% | 2 | コカ・コーラ | -1.72% |
| 3 | 通信サービス | -0.59% | 3 | セールスフォースD | -1.71% |
| 4 | 消費材 | -0.33% | 4 | トラベラーズ | -1.59% |
| 5 | ヘルスケア | -0.27% | 5 | ボーイング | -1.48% |

データを基に SBILM が作成

ドル/円は一時 12/10 以来の高値を付けるも、その後は反落

NY 市場では、欧米の主要株価指数の下落を受けて、投資家のリスク回避の動きが意識され、序盤はドルと円が買われた。さらに、米国債利回りが上昇したことも加わり、ドルは対円でも堅調な動きとなり、一時 104.40 まで上昇し、昨年 12/10 以来の高値を付けた。その後、序盤に下落した米主要株価指数が下げ幅を縮小したこと、ドルと円の買いが一服し、クロス円は底固い動きとなった。さらに、トランプ米大統領の弾劾訴追を巡る米国の政治的な混乱に対する懸念も影響し、ドルは終盤まで主要通貨に対して上値の重い動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。